

## 平成28年度学校評価 中間評価報告

石川県立錦城特別支援学校  
校長 福田 豊彰

## 1 評価の概要

本校は今年度、以下の4点を重点目標に掲げ、取り組みを進めています。

- (1)児童生徒の主体性を引き出すための授業改善と専門性の向上を図る。
- (2)系統的にキャリア教育を推進し、進路支援の充実を図る。
- (3)児童生徒の健康維持、体力の増進に努める。
- (4)地域との交流を促進し、情報を発信することにより、社会への理解啓発を図る。

中間評価では、以下のような評価を実施しています。

- (1)については、以下の3項目で実施しています。

- ①児童生徒の主体性を引き出すための授業改善について、学習環境の改善や教材・教具の工夫をどの程度行っているか。(教員対象)
- ②授業参観で授業内容に満足されているか。(学校公開・授業参観参加者対象)
- ③児童生徒が主体的に学ぶために、ICT機器を活用した授業をどの程度実施しているか。

- (2)については、次の3項目で実施しています。

- ①錦城版キャリア教育プログラムの説明が十分だったかどうか。(保護者、教員対象)
- ②児童生徒のあいさつがよくなったかどうか。(教員対象)
- ③学校からの進路情報がわかりやすく参考になったかどうか。(保護者対象)

※教員対象として、保護者のニーズに即した進路情報が提供できたかどうかも聞いています。

- (3)については、体力向上、健康や身体機能の維持増進が見られたかどうか。(教員対象)

※小・中・高の各学部と肢体不自由のある児童生徒の学級、それぞれで取り組み目標を設定しています。

- (4)については、次の3項目で評価します。

- ①清掃活動や販売活動など、地域の方と接する活動の回数(回数で評価)
- ②地域行事で「よさこい披露に参加した児童生徒・教員の合計の平均(参加人数で評価)
- ③各学部が行ったホームページの更新回数(回数で評価)

## 2 アンケート結果と分析

<p>(1)①児童生徒の主体性を引き出すための授業改善について、学習環境の改善や教材・教具の工夫をどの程度行っているか。(教員対象)</p> <p>A: 5点以上 32.7%</p> <p>B: 3点以上 67.3%</p> <p>C: 1~2点 0%</p> <p>D: 0点 0%</p>	<p>(1)③児童生徒が主体的に学ぶために、ICT機器を活用した授業をどの程度実施しているか。(教員対象)</p> <p>A: 5回以上 46.2%</p> <p>B: 3~4回 44.2%</p> <p>C: 1~2回 7.7%</p> <p>D: 使用していない 1.9%</p>
--	--

上記の2項目は授業改善や教員の指導力向上という点で関連します。(1)①は全職員がB評価以上に該当し、達成度判断基準を超えており、良好な状態といえます。児童生徒の主体的な姿を引き出すための、教室環境の整備や教材の工夫は大切なことであり、一年を通して継続して取り組み、授業改善に努めてまいります。(1)③は授業実践のなかでもICT機器の活用に絞って問うたもので、昨年度より評価基準の数値を上げています。達成度判断基準はB以上です。年間を通した取り組みの中間段階ですが、C+Dの割合が10%程度あります。機器の使用が目的ではありませんが、使用が少ない教員にはいろいろな試みを、十分に活用している教員には効果性も考えた活用の工夫を進めてもらうよう、「チームICT」という校内推進組織による取り組みも交え、継続して取り組んでまいります。

(1)②授業参観で授業内容に満足されているか。

授業への満足度：96.4%

この評価項目では、学校公開や授業参観時に参加された方々にアンケートをとっています。アンケート内容は、授業内容のわかりやすさ、教員の児童生徒とのかかわり方、教材などの工夫、学習環境の4点を項目としています。のべ56人の方から回答を得ています。評価は「A：とてもそう思う」「B：そう思う」「C：あまりそう思わない」「D：そう思わない」の4段階ですが、D評価はなく、1項目でもC評価以下の方が3.6%でした。達成度判断基準は70%以上でしたので、良好な状態であると言えます。

アンケートで問うた項目はいずれも授業改善に関係するものです。今後とも、この結果に満足することなく継続して授業改善に取り組んでいきます。

また、今後の学校公開や授業参観にぜひご参加いただき、ご意見等をお聞かせいただければ幸いです。

(2)①錦城版キャリア教育プログラムを教育支援計画等に活かし、保護者にも十分な説明ができたか。

(教員・保護者対象)

	【教員】	【保護者】
A：(教)十分説明できた	11.6%	40.0% (保)十分な説明があった
B：(教)説明できた	86.1%	58.5% (保)説明があった
C：(教)十分に説明できなかった	2.3%	0% (保)十分な説明がなかった
未記入		1.5%

今年度は教員側の説明の十分さを問うことにしています。また、説明の際に提示するキャリア教育プログラムについても、取り組んでいく項目をチェックするものに変更しました。保護者アンケート結果を見ると、プログラムの内容や説明の改善が一定程度できたのではないかと考えます。しかし、教員アンケートではA評価が少ない状態であり課題です。なお、C評価の教員は、一部の説明が不十分であったというものでした。全体として、教員が自信を持って説明するにはキャリア教育に関する研修等が必要であると考えられます。保護者の方々のキャリア教育についての理解が深まるよう、ていねいでわかりやすい説明を行ってまいりますので、説明についての疑問を何なりと担任にお尋ねください。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(2)②あいさつの仕方に向上が見られた児童生徒の割合 (教員対象)

小学部：69.2%

中学部：42.1%

高等部：48.6%

昨年度も同様の項目を設定していましたが、印象評価の感が拭えませんでした。そこで、チェックシートを作成し、個人の向上の度合いを確認して評価していくこととしました。達成度判断基準は80%ですので、達成していません。チェックシートを活用し、児童生徒に「ここをがんばろう」という意識を持たせ、教員も意識して指導する等の改善を行って、取り組みを進めてまいります。児童生徒の能力に応じたあいさつをする力は社会に出る際に必要とされるものです。ぜひ、向上したとする割合を増やしたいと考えています。

(2)③学校からの進路情報がわかりやすく参考になったかどうか。(保護者対象)

教員には、保護者のニーズに即した進路情報が提供できたかどうか聞いています。

	【保護者】	【教員】
A：十分参考になる	20.0%	4.6%
B：参考になる	73.9%	79.5%
C：あまり参考にならない	4.6%	15.9%
D：参考にならない	0%	0%
未記入	1.5%	

昨年度も同じ項目を設けており、保護者の方の A 評価は+2.8%、B 評価は+8.3%で C・D 評価が大幅に減少しています。達成度判断基準は、A+B が 70%以上ですので、達成しています。ただ、教員評価を見ると、A 評価が極めて低く、C 評価も 10%を超えています。学校からの進路情報には個人懇談等による情報、掲示物や進路だより等による情報があります。前者は主として担任が、後者は進路担当が行うことが多いと考えます。小・中では懇談等で進路の話題になっていない様子もあり、担任の戸惑いのようなものが伺えます。進路支援課が中心となり教員側の知識量を増やす取り組みを行うなどして、教員側の自信を増加させる必要があると考えています。

今後とも、有益な情報を発信したいと考えております。ご要望等がありましたら、ぜひ担任等にお知らせください。

(3)①～③体力の向上が見られた児童生徒の割合（教員対象）

①【小学部】「のびのびタイム」の時間に取り組んでいる、柔軟・姿勢の改善・バランス・走跳筋力等の運動について、チェックシートを用いて伸びを確認する。（5月と9月）

伸びが見られた児童の割合：80%

②【中学部】「体づくり」や体育の時間での取り組みを、体力テストを行って伸びを確認する。（5月と9月）

伸びが見られた生徒の割合：巧緻性60%、瞬発力58%、持久力70%

③【高等部】「体づくり」や体育の時間の取り組みを、体力テスト等を行って伸びを確認する。

A グループ：新体力テスト

B グループ：反復横とび

1回目は5月に測定。2回目の測定は11月に実施予定。

(3)④【肢体不自由】児童生徒の健康の維持増進に向けて新たに取り組んだ件数の平均値  
前期段階の平均：2

①②③の取り組みの達成基準は 70%です。小学部は 80%ですので良好な状態ですので、現在の取り組みを継続していきます。中学部は、一部の項目で達成しています。まだ弱い項目はありますが、それに関する指導を行い改善の取り組みを行っていきます。高等部は次の測定を 11 月に予定していますので、その内容を十分に分析し、体力向上に向けて取り組みを進めていきます。

④の肢体不自由の児童生徒の取り組みは、昨年度は評価方法の課題があり、今年は新たな視点で評価しようと試みたものです。達成度基準は「2件以上」ですので、全体としては達成していることとなりますが、児童生徒によりばらつきがあります。件数だけを追うだけでなく、児童生徒にとって効果のある取り組みを医療等外部関係機関等との連携のもと、継続して取り組んでまいります。

(4)①地域活動及び地域の方と接する活動の回数。（実施回数で評価）

9月末までの実施回数：10回（清掃活動5、販売活動4、接客活動1）

達成度判定基準は18回以上です。実施した活動は地域の方々に触れる活動です。生徒たちが頑張っている姿を見てもらうことにより、本校の活動について理解啓発が深まると考えています。また、回数だけでなく生徒たちの技能や意欲が向上するよう指導の充実も図ってまいります。後期も積極的に取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。

(4)②地域行事でよさこい披露に参加した児童生徒と教員数の合計の平均

これまでの参加者平均：36人

錦城 RUN 舞の活動も本校の活動を発信するツールの一つです。達成基準は30人以上で、達成していますが、児童生徒の参加数の平均は15.5人で、参加者の固定が見られています。地域での活動は土日であり、送迎の課題が大きいとは思いますが、今後は、新たな参加者を呼びこむ工夫の必要性があると考え

えています。

次回は、11月12日(土)の錦城学園の学園祭での披露です。ぜひご参加ください。

(4)③各学部のホームページの更新回数（9月末段階の更新回数）

- ・小学部 20回
- ・中学部 15回
- ・高等部 23回

この項目は、地域の方々に知っていただく1つの方法として、ホームページの有効活用を意図したものです。年間で各部とも30回以上をめざしています。閲覧件数は月2000件平均です。今後とも、ホームページを閲覧する方の立場に立ったアップに努めてまいりますので、ホームページに関するご意見等もよろしくお願ひします。